

通信・織りの風・vol-009



NPO 織風会・クラフトヌプリトック



梅雨空の下、我が家の小さな庭の一隅に、実家から鉢に置いて持ち帰ってきた月見草、一夜限りの可憐な白い花を咲かせ深夜を回るころには薄桃色にかわり、明け方には赤くしておれて自家受粉、その後・子房（しほう）を膨らませて…種がはじけて次代へと可憐な命をつないでいきます。

その昔、まだ私が最初に就職した児童養護施設で、植物に詳しい園長と、県下の他の施設の先輩指導員、さらには野外活動研修の講師にお越しいただいた植物に詳しい先生らに山野の植物をいろいろと教えていただきました。

その際、貴重な「つきみそう」を分けて頂き、大切に育てていましたが、転職をし転居をする中で、実家に置きっぱなしにしていました。一時期はこの時期に多くの花を咲かせていましたが、やがてその姿を見つけないことが出来ずにいましたが、両親の介護で頻りに実家に帰るようになり、実家の裏庭の掃除をしていたら、何年…いや十数年ぶりに発見！！思わず歓喜の声をあげてしまいました。

おおかたの人は、たぶん太宰治の「富士には月見草がよく似合ふ」という一節を思うかもしれませんが、そのツキミソウは、待宵草（マチヨイグサまたはマツヨイグサ）と呼ばれている花で、本来のツキミソウではありません。

「植物を育てるのは子育てと同じだよ」と園長や先輩指導員、講師の先生に教わったことを、およそ40年ぶりに思い出しました。



さて、昨日6月30日にクラフトヌプリトックにて、特定非営利活動法人織風会の第7回目の社員総会（書面総会）をおこないました。社員総数15名（出席者4名、書面評決；賛成8、委任状3）賛成15名により令和2年度の事業報告および決算と令和3年度の事業計画並びに予算に関して承認を頂きました。

利用者さんへの支援、作業活動・製品販売に関して、このコロナ渦の中で、課題はたくさんありますが、関わる人のそれぞれの想いや声を真摯に受け止めて、皆がいつまでも健康で明るく、このヌプリトックで過ごせるようにしていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。



※ 新型コロナウイルスに対してのワクチン接種がようやく本格始動してきましたね！

ワクチン接種をするかしないかは個人の自由です。いろいろな個人的な状況により、接種が良いのかどうかはよくご家族と判断されて対応してください。

なお、接種にあたり、接種後の健康状態、体調不良を起こされた場合は、利用者・スタッフの別なく特別有給休暇にて対応いたしますのでご安心ください。

◎ ワクチン接種をされた方、これからされる方へ！！

もし差し支えなければ、接種された日、接種される予定日をお知らせください。

接種状況の有無の記録を念のため把握しておきたいとおもいます。